

1 新年度予算編成の基本方針と市政運営について

- (1) 平成25年度決算を踏まえ、27年度予算編成の基本方針、事業の重点施策、新規施策、拡充施策、廃止、縮小する事業について明らかにされたい。
- (2) アベノミクスで景気回復を実感できないという声が多い。地域経済の状況をどのように把握し、認識しているか。また、平成27年度の市税収入をどのように見込んでいるか、説明されたい。
- (3) 合併市町村の地方交付税について、算定の特例期間の終了が迫る中で削減幅を全国平均でほぼ半分程度に緩和する方向が言われている。磐田市の算定額と今後の財政運営に対する見解を示されたい。
- (4) 公共施設使用料見直しの基本方針策定の背景と目的、検討経過、市民負担への影響について具体的に説明されたい。
- (5) 市民や利用者の立場に立った組織改革、支所機能について平成27年度の基本的方向性を示されたい。
- (6) 社会保障と税の一体改革において、消費税引き上げ分は、すべて子育て、医療、介護、年金を充実・安定化するために使います、と政府広報で宣伝をしていた。磐田市への施策にどのように反映されているか、具体的に示されたい。また、消費税増税が、市財政（一般会計、病院、水道、下水）と中小・零細業者、市民に与える影響は。さらに、延期ではなくて10%中止を国に働きかけるべきと考えるが、見解を示されたい。

2 自然エネルギー、産業施策の諸課題について

- (1) 再生可能エネルギー買い取り制限は、再生可能エネルギーの普及拡大を後退させるものとする。磐田市への影響と課題は。また、原子力に頼らない自然エネルギーのまちづくり、充実策の進捗状況はどうか。
- (2) 企業立地優遇制度を活用した企業誘致が行われてきたが、地域経済活性化にどのような役割を果たしてきたか、認識を示されたい。また、企業誘致の件数、補助金の総額、雇用拡大はどのように図られたか。
- (3) 遠州豊田PA南側周辺開発基本調査が行われているが、調査の目的について改めて伺う。また、調査の現況と今後の計画について示されたい。
- (4) 2014年6月20日、国会で小規模企業振興基本法が成立し、国とすべての自治体に小規模企業への支援が責務として明確化された。見解を示されたい。また、磐田市として今後取り組むべき施策は何か、伺う。
- (5) 農業委員会・農業生産法人・農業協同組合の一体改革は、農業と農村のあり方に深刻な影響を及ぼし、食料の安定供給や国土・環境の保全という点から逆行する方向であるが、見解を示されたい。

3 文化、教育、こどもの諸課題について

- (1) 磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会における、市民文化会館等の整備についての検討内容、何が決定されたか明らかにされたい。また、利用団体、利用者の声、意見が届いていないと聞くが、今後どのように反映させていくのか、説明されたい。
- (2) 施設一体型小中一貫校を視野に入れた構想の策定を委託しているが、委託先はどこか。構想策定の公表はどのように行うのか示されたい。また、実施計画では、平成27年度は、一貫校等整備基本計画作成委託、学校施設更新計画作成委託、一貫校等整備検討委員会の設置がされるようだが、内容を明らかにされたい。
- (3) 豊岡東小統合後の跡地、豊岡東幼稚園跡地の活用策について、市としての基本的方針、今後のスケジュールを示されたい。

- (4) 財務省が、現在行われている公立小学校1年生の35人学級を40人学級に戻すよう文部科学省に求める方針を示していることは問題と考える。市は35人以下学級の全面実施を国、県に求めるべきだが、見解を。
- (5) 「子どもの貧困対策推進法」に基づき、市が取り組むべき課題は何か。また、市内の現状、貧困の背景、貧困率についての認識を示されたい。

4 原発、防災対策について

- (1) 県は、中部電力浜岡原発の重大事故に備えて、放射線防護施設を31km圏（UPZ）にも整備できるよう、国に補助対象の拡大を働きかけることを明らかにしている。現在の状況をどのように把握しているか。また、磐田市としての対象施設をどのように考えているか、伺う。
- (2) 浜岡原発の永久停止・廃炉の求めに対しては「確実な安全・安心が将来にわたって担保されない限り、再稼働は困難である。」と繰り返し述べている。安全・安心の担保とは何か、具体的に説明されたい。また、避難計画策定の進捗状況を示されたい。
- (3) 浜岡原発の再稼働について、7市町の事前了解を条件とする安全協定の締結状況を説明されたい。また、磐田市の主張も明らかにされたい。
- (4) 防潮堤整備事業20年計画の短縮を求める声が多いが、解決すべき諸課題、今後の対応策について伺う。また、国、県の支援策の内容はどうか。
- (5) 豊岡地区の一級河川一雲斎川及び二級河川敷地川の改修と水害対策の現状及び課題は。また、土砂災害の現状と今後の対応策について伺う。